

いさやま 大介

決算特別委員会
活動風景



▶ 平成29年9月 局別審査



▶ 同左 意見表明

スポーツ・文化施策に取り組んでいます！

○東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿 の誘致 スポーツ

イギリスなどいくつかの国の「ホストタウン」に登録された神戸市。プロジェクトチームが様々なチャンネルを駆使し誘致に取り組んだ結果、**オーストラリアパラリンピック委員会との独占交渉権を獲得**。しあわせの村などを練習場所とし、13種目のパラ競技が参加予定。

また、ナショナルチームが施設や宿泊場所の視察などを目的として市を訪問したさいに帯同。

★ 現地に足を運び、質疑に活かしています。



↑ アメリカナショナル水泳チームが王子SCプールを視察

○ラグビーワールドカップ2019の開催 の準備

大会を成功に導くために、**市街地においてストリートラグビーを開催するなど、市民の機運を盛り上げる工夫ができないか、などを提案。**



↑ ネパール パラ水泳チームとの交流会

○神戸国際フルーツコンクール 継続へ 文化

継続が危ぶまれたコンクールも音楽祭を同時に開催した効果もあり、市民への浸透や盛り上がり成功した。今後の展開について質疑。

子育て・教育・防災施策に取り組んでいます！

○仕事と子育ての両立支援 を進めます 子育て

乳幼児をもつ母親の仕事と子育ての両立を市としても支援するのは必要である。託児スペースとオフィススペースを併設した両立支援拠点として、神戸市が整備支援を行った「**ママスクエア神戸新長田店**」の運営状況について質疑。**灘区や東灘区に新たに誘致し東西の拠点として整備すること、フリーランスの母親を受け入れる託児所付きの「コワーキングオフィス」など、多様な働き方に対応した両立支援拠点の研究もするよう要望。**

○学力定着度調査 の活用 教育

全国学力・学習状況調査と併せて、神戸市は独自で学力定着度調査を拡充し、小学校4年生から中学校3年生までの学力定着度を把握するよう取り組む。**「蓄積したデータおよび生活習慣等と学力との相関関係」の分析と学力向上施策への反映について質疑。**

○避難所となる公立学校の防災機能 の現状 防災

文部科学省が実施した学校の避難所機能の調査では、断水でも使用できるトイレや停電時の電力確保をしている割合が約50%であることが判明。飲料水の確保、非常用物資の備蓄割合なども公表されたが、**神戸市の公立学校における避難所機能の割合はどの程度かを質疑。**



↑ 灘区内小学校でのシェイクアウト訓練

「備蓄」「飲料水」「通信」は近隣からの融通により実態として100%、
「電力」は太陽光発電設備とカセットボンベ式発電機配布で 98.4%、
「断水時トイレ」は 98.8%で、全国平均を大きく上回っている、とのこと。